

平成20年度「新たな公」によるコミュニティ創生支援モデル事業

モデル事業名	「たたら製鉄」の歴史と交流を活かしたコミュニティ創生事業
対象地域	島根県雲南市吉田町吉田地区
活動概要	<p>島根県雲南市吉田町は、近代製鉄が西欧から導入されるまで「たたら製鉄」による日本の和鉄生産の中心地として栄えた地である。日本に唯一残る永代たたら「菅谷たたら」や、鉄山経営者・田部家を中心とした町並みが残されている。昭和61年には「鉄の歴史村」を宣言し、これらの文化遺産と固有の歴史・文化を保存・伝承するとともに、文化遺産を活用した地域づくりとして「鉄の歴史村」事業に取り組んできた。そうしたなかで博物館の整備、運営母体の設立、シンポジウムの開催、技術の復原と記録等に取り組み、「鉄の歴史村」としての基盤を整え、その成果を蓄積してきた。</p> <p>しかし、吉田町では町村合併後も、人口減少、少子高齢化、地域商業の衰退に歯止めがかからず、コミュニティの維持が危惧されるようになった。こうした中、これまで「鉄の歴史村」として取り組んできたことによる文化遺産や施設、民間団体、住民組織といった基盤を活かして本事業に取り組んで地域外から交流人口を呼び込むことで、若者にとって魅力ある地域活動と雇用の場の創出を目指す。</p> <p>地域の特色を活かした交流事業を展開することで、地域内外の若者に「定住の地」として選択されるコミュニティの創出を図り、こうした若者がコミュニティの後継者となるように、支援・育成していくことを目指す。</p>
今年度の主な取組	<p>「鉄の歴史村」として取り組んできた文化遺産や博物館施設等のハード、ソフト両面での基盤を活用したテストツアーを企画・実施するとともに、Webサイト等の情報ネットワークを構築し、地域資源のPR手法の検討を行う。</p> <p>①会員による合同研修会を実施する。その後、アイデアを出し合っ「交流を活かしたコミュニティ創生計画」を策定し、それぞれがその目的と手段を共有し、これを強力に進めていくための基準とする。</p> <p>②都市住民等をターゲットとする、地域資源や魅力を紹介するテストツアーを企画・実施する。</p> <p>③「鉄の歴史」に関する様々な情報を共有できるWebサイトを構築する。</p> <p>④上記の成果を踏まえ、地域の有効なPRのやり方を検討する。</p>
活動結果	<p>プロモーションツールであるWebサイトやパンフレットを作成するなかで、ターゲットをより明確にする必要性、また当地域がどのような位置づけにあるのかというポジショニングがはっきりと確定されていないという課題にあたった。つまり、マーケティングが必要であり、これに基づいた受入体制の整備が最優先であるということに気付くことになった。</p> <p>当事業に取り組む途中の段階で、受入体制が十分でないことに気付き、まずは、これに対処するため、受入体制の整備計画を検討することとした。</p> <p>また、交流人口拡大にあたって、ターゲットを設定する段階になり、これまで「製鉄企業関係者」とのつながり、またコアな人々への働きかけを優先してきたが、地域資源をより有効に活かしていくためには、もっと幅広い層へ働きかけるべきとの結論に至った。</p> <p>事業を通して、課題が明確になり、今後のプロモーションの検討にあたって、役に立ったと考える。</p>

